

第6回 メンタルコントロール

～緊張は努力の証～

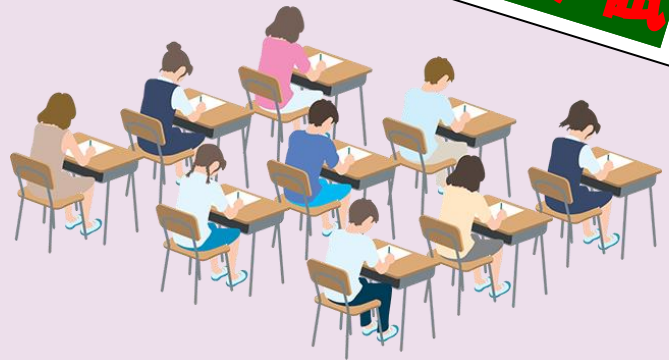
もうすぐ論文式試験ですね。論文式試験が近づくとつれて緊張や不安が高まってきている方が多いと思います。これを書いている私もそうでした。試験直前の答練では全然点数が取れず合格できるか不安だったし、試験当日は緊張で頭が真っ白になることが何度もありました。ですが、そんな私でも無事合格することができました。そこで今回は論文式試験の心構えについて紹介していこうと思います。参考になれば嬉しいです。

最初に伝えたいことは緊張するのは悪いことではないということ。緊張しているのは自分だけではありませんし、会計士になれるかどうかか



かった試験なので緊張するのは当たり前です。また、緊張しているということは裏を返せばたくさんの努力をしてきた証拠だと思います。何も努力をせずどうでもいい試験だったら緊張しませんよね・・・なので、緊張しても焦らないでほしいです。どうしても緊張してしまう方はいつもの模試だと思って受けて良いかもしれません。私も緊張していたのですがいつもの模試と同じように受けることを意識したら緊張がほぐれました。

公開模試



あと予備校の先生からも言われていることだと思えますが最後まであきらめないことが大事です。私の体験談ですが最終日に行われた企業法が全然解けず経営学が投げやりになりそうでしたが、今までの苦勞を思い出し何とか最後まで諦めずに試験に臨むことができました。その結果、企業法は足切りを免れ経営

学は科目合格レベルの点数が取れ無事に合格することができました。最後まで諦めずに不合格だったら納得がいくと思いますが、途中で諦めて不合格だったら後で後悔すると思います。なので、最後まで諦めずに試験に臨んでいただきたいです。



まとめると緊張するのは普通ですし最後まで諦めずに問題を解くことが合格するのに重要なことだと思います。最後になりますが悔いのないような試験にしてください。皆様の合格祈っております。

